



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 10, July 2015

Newsletter

平成 26 年度事業報告・収支決算

財団は 6 月 8 日、理事会及び評議員会を開催し、「平成 26 年度事業報告」及び「平成 26 年度収支決算」等を審議し、6 月 24 日の評議員会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成 26 年度事業報告

1 学術情報の発信

(1) 『学術の動向』の発行

日本学術会議の事務局の編集協力を得て、総合学術情報誌『学術の動向』を刊行した。同誌には、国内外の学術の動向を特集として掲載するほか、日本学術会議の決定事項、各種委員会の活動状況等を合せて掲載し、広く一般国民、大学等、研究機関、学協会等に周知するものである。

(2) 『学術会議叢書』の発行

国民生活に密着した話題にタイムリーに対応し、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学術会議が主催した公開講演会の記録をベースに関連資料及び解説を加えて編集した学術会議叢書を刊行しており、今年度は、次の 1 冊を刊行した。

・学術会議叢書 21 『高レベル放射性廃棄物の最終処分について』

なお、学術会議叢書 21 は、(公財) 一ツ橋総合財団からの助成を受けて、全国約 1,500 ヶ所の国公立図書館・大学等に寄贈するとともに、学術団体等の賛助会員に無償配布した。

2 学術連携推進事業

(1) 科学者連携事業

日本学術会議の主催の講演会、シンポジウム等の事業について、学術普及・啓発事業の一環として協力した。

(2) 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信

『データベース「学会名鑑」』

(独) 科学技術振興機構・日本学術会議・財団の共同事業として、インターネット上で公開している。「学会名鑑」の内容の充実を図った。

this issue

平成 26 年度事業報告・収支決算
データベース学会名鑑について
賛助会員の状況
平成 27 年度一部役員改選
学術関係団体事務支援事業
公開講演会開催に対する支援
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人

日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2015 年 7 月 1 日発行

平成26年度事業報告（続き）

『学術の動向』

特集記事等を、(独)科学技術振興機構 J-STAGE と財団ホームページで公開した。

(3) 国際学術交流事業の実施

予定していたが、実施するに至らなかった。

(4) 学術調査研究事業の実施

国、政府関係機関等からの受託を予定していたが、実施するに至らなかった。

3 学術関係団体事務支援事業の実施

日本学術会議同友会、日本医歯薬アカデミー、日本農学アカデミー、硬組織再生生物学会など学・協会からの要請を受けて、各団体活動に係る事務の支援を行った。

4 運営基盤の強化

当財団は、学術に関する知識情報の普及を図る活動を行っている。今後、当財団の果たす役割も一層重要性が増していることから、当財団の運営基盤の強化を図った。

平成26年度収支決算

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目 | 予 算 |
|---------------|--------|
| I 一般正味財産増減の部 | |
| 1 経常増減の部 | |
| (1) 事業活動収入 | |
| 基本財産運用益 | 335 |
| 受取会費 | 12,868 |
| 事業収益 | 5,792 |
| 寄附金等 | 1,500 |
| その他収入 | 43 |
| 経常収益計 | 20,538 |
| (2) 経常費用 | |
| 事業費 | 23,284 |
| 管理費 | 5,230 |
| 経常費用計 | 28,514 |
| 当期経常増減額 | △7,976 |
| 2 経常外増減の部 | |
| (1) 経常外収益計 | 25,206 |
| (2) 経常外費用計 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 25,206 |
| 一般正味財産期末残高 | 27,204 |
| II 指定正味財産増減の部 | |
| 指定正味財産期末残高 | 26,590 |
| III 正味財産期末残高 | 53,794 |

データベース学会名鑑について

財団は、平成23年度より、日本学術会議、科学技術振興機構と連携して「データベース学会名鑑」の運用を行っております。

さて、間もなく、公開から4年が経過し、改定期を迎えております。現在のサイトでの運用は本年9月までを予定しており、今後、内容を新たに「新学会名鑑(仮)」の開設を予定しております。

現在、三機関での協議を進めておりますが、今回の改定では、掲載学協会を日本学術会議・協力学術研究団体と一致させることが決定いたしました。また、本システムが、我が国の学協会の実態を示す基礎データを持つデータベースとなるよう、調査項目の見直しを検討しております。

現在、鋭意、作業を進めております。各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

賛助会員の状況

財団の平成27年3月31日現在の賛助会員数は、次のとおりです。(単位：人・法人)

| | 区分 | 個人 | 学術団体 | 企業等 | 合計 |
|------|---------|-----|------|-----|-------|
| 25年度 | 入会 | 14 | 0 | 0 | 14 |
| | 退会(逝去含) | 40 | 4 | 0 | 44 |
| | 年度末現在 | 903 | 95 | 1 | 999 |
| 26年度 | 入会 | 78 | 0 | 0 | 78 |
| | 退会(逝去含) | 50 | 3 | 0 | 53 |
| | 年度末現在 | 931 | 92 | 1 | 1,024 |

賛助会員については、『学術の動向』の無料配布、出版物の割引頒布があります。

平成27年度一部役員改選

財団は、理事の任期満了により、6月8日に理事会及び評議員会を開催し、理事並びに一部評議員及び監事の選任を行い、6月24日に以下の新体制へ移行いたしました。

役員及び評議員名簿

(全員非常勤)

| 役職 | 氏名 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長 | 吉川弘之 (国研) 科学技術振興機構特別顧問 |
| 副会長 | 廣渡清吾 専修大学法学部教授 |
| 理事長 | 黒川 清 政策研究大学院大学客員教授 |
| 常務理事 | 谷口隆司 元日本学術会議事務局長 |
| 理事 | 浅島 誠 (独) 日本学術振興会理事 天野万利 アジア生産性機構事務局長 大垣真一郎 (公財) 水道技術研究センター理事長 沖村憲樹 (国研) 科学技術振興機構特別顧問 勝野堅介 元内閣府賞勲局長 金澤一郎 国際医療福祉大学大学院教授 岸 輝雄 (国研) 物質・材料研究機構名誉顧問 小島順彦 三菱商事(株)取締役会長 佐々木恵彦 (公財) 国際緑化推進センター理事長 柘植綾夫 (公社) 科学技術国際交流センター会長 |
| 評議員 | 秋山弘子 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 安藤昌弘 (一社) 新情報センター会長 岩井宜子 専修大学名誉教授 岩村 秀 東京大学名誉教授 久米 均 (公財) 日本適合性認定協会理事長 河野博忠 筑波大学名誉教授 竹中登一 (公財) ヒューマンサイエンス振興財団会長 竹林義久 (一財) 日本交通安全教育普及協会専務理事 富浦 梓 (国研) 科学技術振興機構・社会技術研究 開発センター・プログラム総括 蓮見音彦 東京学芸大学名誉教授 山下興亜 中部大学学長 |
| 監事 | 川口 雄 (一財) 日本自転車普及協会評議員 土居範久 慶應義塾大学名誉教授 |

学術関係団体事務支援事業

【日本医歯薬アカデミー】

3月6日に理事会及び総会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本学術会議同友会】

4月10日に総会及び懇親会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本農学アカデミー】

7月25日、東京大学農学部フードサイエンス棟において総会及びミニシンポジウム「転換期の日本社会と新たな食料・農業・農村基本計画」が開催されますが、財団がその支援を行います。

日本学術会議部会・地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行います。

◎第二部、北海道地区主催

「感染症との闘い」

平成27年8月5日(水)

於：北海道大学医学部学友会館

◎第一部主催

「震災復興の今を考える」

平成27年8月10日(月)

於：福島市AOZ

◎第三部主催、中部・四国地区主催

「市民に向けた巨大津波の

最先端科学と正しい防災知識」

平成27年8月26日(水)

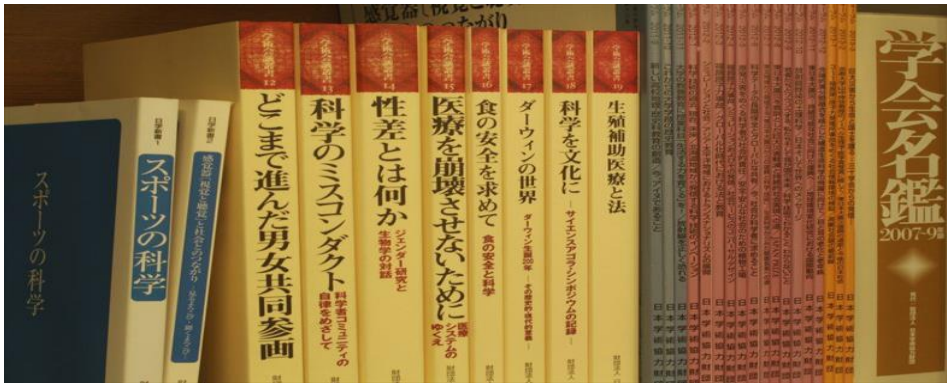
於：高知工科大学永国寺キャンパス

◎九州・沖縄地区会議主催

「水素元年」

平成27年9月8日(火)

於：九州大学伊都キャンパス



**データベース
学会名鑑**

<http://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

学会名鑑

検索

登録名検索

分野別で探す

50音別で探す

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約2,100の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記URLからいつでもご覧いただけます。

<http://gakkai.jst.go.jp/>

出版物のご案内 ※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円＋税（送料込）
年間購読 8,230 円（税・送料込）
賛助会員は無料配布

- '15 年 4 月号 減災の科学を豊かに—多様性・ジェンダーの視点の主流化に向けて—
＜若者＞と法
- 5 月号 自然史標本の継承—人類の財産を失わないために今なすべきこと—
中型高輝度放射光源に期待するこれからの科学・技術
- 6 月号 発電以外の原子力利用の課題と展望
高齢化社会の食と医療—心身の健康のために—

学術会議叢書 A5 判・本体価格 1,800 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 1,750 円（税・送料込）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理（品切れ） | 12 どこまで進んだ男女共同参画 |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 13 科学のミコンダクト（品切れ） |
| 3 男女共同参画社会（品切れ） | 14 性差とは何か（品切れ） |
| 4 エネルギー学を考える（品切れ） | 15 医療を崩壊させないために |
| 5 多発する事故から何を学ぶか | 16 食の安全を求めて |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命（品切れ） | 17 ダーウィンの世界 |
| 7 先端科学技術と法（品切れ） | 18 科学を文化に |
| 8 食の安全と安心を守る（品切れ） | 19 生殖補助医療と法 |
| 9 医療事故は予防できるか | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか（品切れ） | 21 高レベル放射性廃棄物の 最終処分について |
| 11 舞踊と身体表現 | |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 730 円（税・送料込）

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学—（品切れ）

公益財団法人日本学術協力財団

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。
今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

〒106-0031
東京都港区西麻布 3-24-20
TEL 03-3403-9788
03-5410-0242
FAX 03-5410-1822
URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>